

— 株主のみなさまへ —



第82期中間報告書

平成30年4月1日▼平成30年9月30日

Be always for Customers!

井村屋グループ株式会社

あずき花



へにこんごう
あずき混抄紙 **紅金剛**

この株主報告書の表紙に使用している紙は、井村屋本社工場にて生あんの製造時に出るあずきの皮を有効活用しております。

証券コード 2209



代表取締役社長(COO) 大西 安樹 代表取締役会長(CEO) 浅田 剛夫 代表取締役副会長 中島 伸子

井村屋グループ理念

井村屋グループ各社・各部門そして私たち一人ひとりの活動の原点であり、精神的支柱となるもので、以下3つの要素からなります。

Mission ミッション(社会的使命)

「おいしい!の笑顔をつくる」

安全で安心できる楽しい商品・サービスを提供し、お客様の食生活においしい!の笑顔の輪を広げ続けることが、私たちの社会的使命です。

Vision ビジョン(ミッションを果たす道程)

Be always for Customers!

社員一人ひとりが、いつでもお客様の立場に立って、いつもお客様のことを意識し、行動しましょう。

Passion パッション(情熱、心意気、行動)

「イノベーション(革新)」

イノベーションの発揮には常に強いパッションが求められます。全体最適を考え、全員でイノベーションに向けて活動することが「特色経営」につながり、新しい付加価値になります。

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成30年西日本を中心とした豪雨、また北海道胆振東部地震で被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

第82期上半期(平成30年4月1日～平成30年9月30日)を終了し、中間報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当会計期間における私たちを取り巻く日本の経済環境は自然災害等の影響もありましたが緩やかな回復基調にあり、戦後最長の景気拡大期に迫っております。一方で国際情勢は緊迫し、また消費増税を控え依然先行き不透明な状況が続いております。

そのような経営環境の中で、当社グループでは中期3カ年計画「新・維新 Next Stage 2020」の初年度を迎え、着実な成長を目指して順調にスタートいたしました。変革課題に「アスリート経営」を掲げ、目標をしっかりと定め、①「筋肉を増強する」(商品・サービスなどの魅力、企業価値を向上させる)、②「無駄な脂肪を削る」(生産性向上によるコスト削減)、③「体幹を鍛える」(社会性を意識

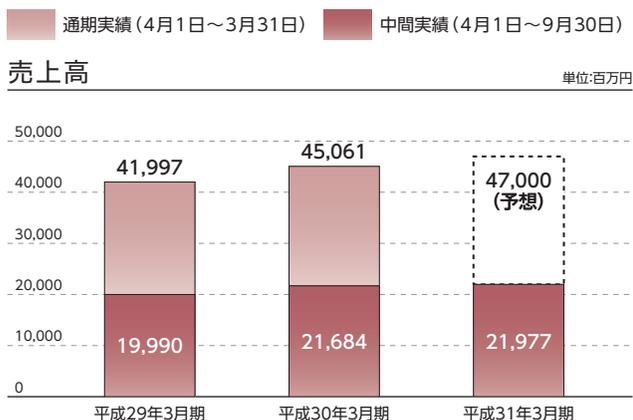
したバランスの良い経営を行う)ことに取り組んでおります。

当第2四半期は、夏場の主力である冷蔵商品を中心に計画に沿って推移し、井村屋フーズ株式会社も合併を経て2年目に入り、シナジー効果を発揮しながら着実に成長しており、海外事業についても成長を続け、貢献しております。しかし、コスト面では原材料の高騰や動燃費・人件費の上昇などの影響があり、厳しい経営状況となりました。

下半期に向けては、中心となる点心・デリ事業では、昨年稼働した新工場で生産される高付加価値商品が市場の評価を得て、好スタートを切ることができました。また、新工場「AZUKI・FACTORY」も一部稼働いたしました。「おいしい!の笑顔をつくる」のミッションの下、着実な成長、強固な企業体質の構築、社会との共生を意識し、更なる企業価値の向上に努め、30年後の創業150年、会社設立100周年に向けて、挑み続けてまいります。

株主の皆さまにおかれましては引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト



営業利益



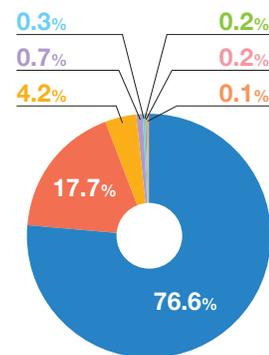
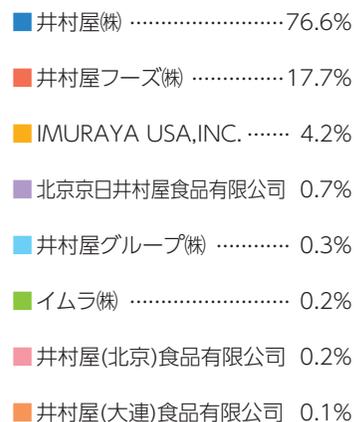
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



持株会社及び事業会社別の売上高



井村屋グループ中期3カ年計画

新・維新 Next Stage 2020

井村屋グループは、2018年4月から2021年3月までの3年間の経営方針として、中期3カ年計画「新・維新 Next Stage 2020」を策定しました。激しさを増す経営環境のなか、グループ間の連携を強め、より一層のシナジー効果を発揮することでグループ企業価値を更に高めてまいります。

数値計画

単位:百万円

	2020年度
売上高	50,000
損益(経常利益)	2,000
経常利益率	4.0%
ROE	10%

四半期連結貸借対照表(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度 平成30年3月31日	当第2四半期連結会計期間 平成30年9月30日
(資産の部)		
流動資産	14,516	16,180
現金及び預金	3,380	3,124
受取手形及び売掛金	7,216	8,724
たな卸資産	3,456	3,513
その他	463	819
貸倒引当金	△ 1	△ 1
固定資産	18,744	19,419
有形固定資産	15,580	15,937
無形固定資産	132	125
投資その他の資産	3,030	3,356
繰延資産	12	9
資産合計	33,272	35,609
(負債の部)		
流動負債	15,752	17,714
固定負債	2,334	2,115
負債合計	18,086	19,829
(純資産の部)		
株主資本	12,659	13,220
その他の包括利益累計額	2,494	2,530
非支配株主持分	31	28
純資産合計	15,185	15,779
負債・純資産合計	33,272	35,609

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 資産

当第2四半期末日が銀行休業日に伴い、売掛金が増加しました。

POINT 2 負債

計画的な設備投資及び冬物商品の生産に連動した短期借入金が増加しました。

POINT 3 純資産

親会社株主に帰属する四半期純利益が増加しました。

四半期連結損益計算書(要約)

単位:百万円

	前第2四半期連結累計期間 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで
売上高	21,684	21,977
売上原価	14,178	14,704
売上総利益	7,506	7,272
販売費及び一般管理費	6,558	6,334
営業利益	947	937
営業外収益	86	134
営業外費用	26	25
経常利益	1,007	1,046
特別利益	254	78
特別損失	13	11
税金等調整前四半期純利益	1,247	1,113
法人税等合計	388	238
四半期純利益	859	875
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	858	875

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 冷菓カテゴリーでは上期の主力商品「あずきバー」シリーズが順調に推移し、過去最高の売上本数となりました。また、下期の主力商品である点心・デリ商品が好調な立ち上がりとなり売上が増加しました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

単位:百万円

	前第2四半期連結累計期間 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 755	△ 358
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,902	△ 1,240
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,776	1,300
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	42
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	124	△ 256
現金及び現金同等物の期首残高	794	3,375
現金及び現金同等物の四半期末残高	918	3,119

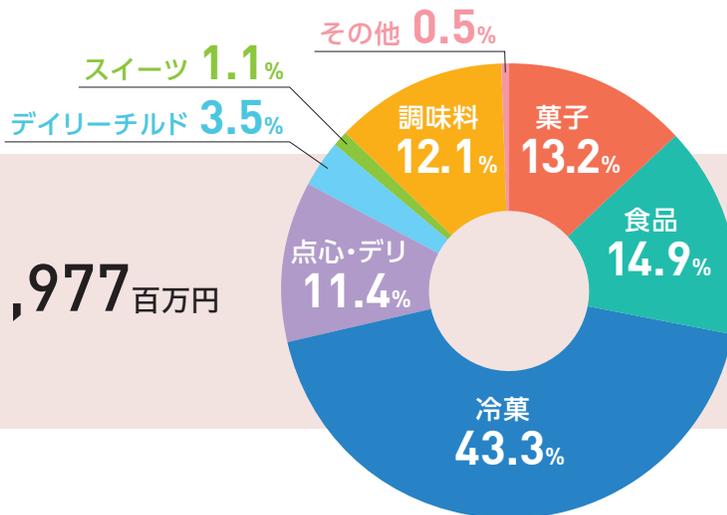
※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 (営業活動によるキャッシュ・フロー) 前年同四半期に比べ、売上債権の減少により、収入が増加しました。

POINT 2 (投資活動によるキャッシュ・フロー) 前年同四半期に比べ、有形固定資産の取得による支出が減少しました。

POINT 3 (財務活動によるキャッシュ・フロー) 前年同四半期に比べ、短期借入金の借入に伴う収入が減少しました。

連結売上高 21,977百万円



菓子 2,899百万円 (前年同期比41百万円(1.4%)増)

備蓄・保存用商品の「えいようかん」や煮あずき製法を用いた「煮小豆ようかん」「煮小豆どら焼」の売上が伸びました。また、「缶プリン」の発売50周年に合わせて企画した手土産ギフト商品「昔ながらの缶プリン」は好評をいただき、公益社団法人 日本パッケージデザイン協会が主催する「日本パッケージデザイン大賞2019」において入選いたしました。今後もギフト商品の成長に向けて取り組んでまいります。中国のカステラ事業では井村屋(北京)食品有限公司(IBF)において米国向けの輸出が堅調に推移しました。また、カステラの生産拠点を北京から大連に移管し、生産能力の増強とコストダウンを図っております。



食品 3,274百万円 (前年同期比385百万円(13.4%)増)

夏物商品の「氷みつ」が順調に推移しました。また、冬物商品の「4個入り冷凍パックまん」シリーズや「2個入りゴールドまん」シリーズの販売が好調にスタートし、売上が伸びました。井村屋フーズ株式会社の加工食品事業ではOEM受託商品の売上が増加しました。



冷菓 9,513百万円 (前年同期比596百万円(5.9%)減)

最盛期の7月～8月は記録的な猛暑となって氷菓系商品の需要が高まり、主力商品である「あずきバー」シリーズは売上が順調に推移し、過去最高の売上本数を更新しました。一方でクリーム系アイス商品は苦戦し、「やわもちアイス」シリーズや「クリームチーズアイス」シリーズは酷暑の影響がマイナスに働き、売上は前年同期を下回りました。米国でアイス事業を展開しているIMURAYA USA, INC.では、大手量販店の販売キャンペーンを実施し、積極的な販売促進活動を行いました。しかし競争激化のため、売上は前年同期を下回りました。その結果、冷菓カテゴリーの売上高は前年同期を下回りましたが、秋冬物商品の新商品として「やわらか仕立てのミルクあずき・抹茶あずき」や「クリームチーズデザートカップアイス」を発売し、「冬アイス」の需要に向けた商品戦略を進めております。



点心・デリ 2,506百万円 (スチーマー商品) (前年同期比370百万円(17.4%)増)

「肉まん・あんまん」などの「点心・デリ」カテゴリーは生産設備の増強やコンビニエンスストアとの取り組み強化など、本格的なシーズンに向けて成長戦略を進めてきました。付加価値の高い商品が好評をいただき、8月からのコンビニエンスストアへの導入が好調に推移しました。冬場の最需要期に向けて期待がもてる状況となっております。



デイリーチルド 773百万円 (前年同期比37百万円(5.0%)増)

「豆腐類」では「**美し豆腐**」やその他の業務用商品が堅調に推移しました。また、「**3個入りチルドパックまん**」シリーズの導入が順調に進み、売上が増加しました。



スイーツ 249百万円 (前年同期比59百万円(19.4%)減)

スイーツカテゴリーでは、「Anna Miller's (アンナミラーズ) 高輪店」が堅調に推移しました。催事販売の効果により認知度が高まっております「JOUVAUD (ジュヴォー)」では、5月に関西地区初出店として京都に「La maison JOUVAUD (ラ・メゾン・ジュヴォー) 京都祇園店」を出店し、順調に推移しました。「La maison JOUVAUD (ラ・メゾン・ジュヴォー) KITTE名古屋店」では特長あるメレンゲ菓子の「**生ロカイク**」がテイクアウト商品として引き続き人気を集めております。今期は前期4月から5月に開催された「お伊勢さん菓子博2017」へ出店した「**ai ai Café (アイアイカフェ)**」の売上がなく、スイーツカテゴリーの売上高は前年同期を下回りましたが、「JOUVAUD (ジュヴォー)」におきましては京都祇園店に続き「La maison JOUVAUD (ラ・メゾン・ジュヴォー) JR京都伊勢丹店」を12月に新規出店する予定であり、今後、更なるブランド戦略を進めてまいります。



調味料 2,653百万円 (前年同期比118百万円(4.7%)増)

国内では井村屋フーズ株式会社のシーズンング事業において、新規顧客獲得やお客様ニーズに対応した商品提案に取り組み、ODM (Original Design Manufacturing)、OEM、海外輸出の売上が増加しました。中国での調味料事業では、北京の北京京日井村屋食品有限公司 (JIF) が積極的な販路拡大により中国国内で売上が伸長し、大連の井村屋 (大連) 食品有限公司 (IDF) では海外への輸出が増加しました。



その他 108百万円 (前年同期比3百万円(3.3%)減)

イムラ株式会社がやっているリース代理業は堅調に推移しました。また、井村屋商品のアウトレット販売を行っております「**MOTTAINAI屋**」はお客様へのサービス向上に取り組み、地域住民の皆様から引き続き好評をいただきました。本社所在地である三重県津市の近鉄津駅構内に outlets している「imuraya Sweets Shop irodori」では特色のあるスイーツ商品を中心に販売し、人気を得ております。また、本社近隣で11月にオープンしましたイオンスタイル津南店に「ソフトアイスクリーム&スイーツ店 WaiWai」を出店し、地域の皆様へ新たなサービスを提供してまいります。

株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	13,086,200株 (自己株式1,084株を含む)
単元株式数	100株
株主数	7,398名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社第三銀行	588	4.49
株式会社百五銀行	578	4.42
株式会社三菱UFJ銀行	559	4.27
井村屋取引先持株会	524	4.00
JPMCB NA ITS LONDON CLIENTS AC MORGAN STANLEY AND CO INTERNATIONAL LIMITED	315	2.41
株式会社りそな銀行	286	2.18
中山芳彦	249	1.90
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	247	1.89
株式会社西村商店	239	1.82
双日食料株式会社	232	1.77

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主様へのインフォメーション

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.imuraya-group.com/ir/ad/ <small>(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)</small>
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に、お問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主様ご優待

毎年3月31日現在及び9月30日現在の株主の皆さまに対し、ご優待品を贈呈しております。上期9月30日現在の株主様のご優待品は12月中旬頃にお送りいたします。以下は、平成30年9月30日現在の株主様を対象としたご優待品でございます。

100株以上500株未満の株主様

500円相当の井村屋新商品



500株以上1,500株未満の株主様

1,500円相当の井村屋商品オリジナルギフト



1,500株以上の株主様

①と②を合わせてお送りいたします。

① 1,500円相当の
井村屋商品オリジナルギフト



② 1,500円相当のセレクトギフト
次の2種類からお一つお選びいただけます。

○ 点心・デリ&アイスクリーム詰合せ



○ 和菓子の彩



※②で点心・デリ&アイスクリーム詰合せをお選びいただいた場合、冷凍商品のため、オリジナルギフトとは別便にてお届けいたします。

※写真はイメージです。内容が一部変更する場合がありますので、ご了承ください。

菓子



自分で作るサクサク最中(ギフト/単品)

井村屋独自の「煮あずき製法」で炊き上げた濃厚な味わいのつぶあんを、国産もち米で作った香ばしい最中皮で挟んで食べる、サクサク食感が特徴の最中です。

パッケージ中央部分を押しただけであんが出る「ギュッと押しだけパッケージ」を採用し、簡単に作れるのでお子様にもぴったりの商品です。

3コ入 和菓子屋のもっちり餅入りどら焼

北海道産小豆を使用した自社炊きのつぶあん、相性抜群の和素材であるお餅を挟みました。もち粉には、富山県産「新大正糯(もち)」を使用し、伸びがよくなめらかな口当たり仕上げた満足感たっぷりのどら焼です。

食品



しょうが蜜S / ゆず蜜S

素材本来の味・効果が手軽に楽しめる本格シロップに、使いやすいミニサイズが登場しました。

しょうが蜜は国産「黄金しょうが」のペーストを使用し、ぴりりとクセになる後味に仕上げました。

ゆず蜜は果汁の約4倍のビタミンCが含まれている、高知県産ゆず皮ピューレを使用。爽やかな香り成分「リモネン」にはリラックス作用があり、ホッと安らぐひとときをお過ごしいただけます。

冷菓

なめらかなくちどけのアイスに、自社で炊き上げた北海道十勝産小豆使用の「あん」を組み合わせた秋冬にぴったりの和風アイスバーが新発売！ 厳選素材で作られたこだわりの逸品をお楽しみください。



やわらか仕立てのミルクあずき

北海道豊富町産の生クリームを使用したココのある風味豊かな味わいに仕上げました。



やわらか仕立ての抹茶あずき

京都の老舗宇治茶専門店「丸宗」の宇治抹茶と玉露を贅沢に使用した旨みと甘みのある味わいです。

点心・デリ



2こ入 ベイクド・デリ

イタリア産トマトのピッツァ／国産鶏のチキングラタン

トマトのフレッシュ感とチーズ、ベーコンの旨みを活かした本格的なピザソースを使用した「イタリア産トマトのピッツァ」、鶏肉の旨みとチーズのコクを活かした濃厚なグラタンが楽しめる「国産鶏のチキングラタン」を熟成した生地で包みこみ、しっかりと蒸してもっちり香ばしく焼きあげました。

La maison JOUVAUD 京都祇園店オープン

2003年より日本で展開しているLa maison JOUVAUDが広尾店(東京)、KITTE名古屋店に続き、5月25日に関西初となる京都祇園に出店いたしました。

外観は京都の町屋作りの古民家、内装はジュヴォアのコンセプトを活かして、伝統的なプロヴァンス地方の雰囲気再現しました。京都祇園店限定のスイーツも取り揃えております。開放的な雰囲気を融合させた空間でこだわりのプロヴァンス菓子をお召し上がりください。



▲ La maison JOUVAUD 京都祇園店 外観



AZUKI・FACTORY 稼働しました

あずきの選別から最終製品の生産までを一貫して行うAZUKI・FACTORYが竣工し、他の工場生産するあずき製品に使用する「あん」を供給するため、ラインが稼働いたしました。

今後も、新たな価値を生み出し、井村屋のコア原料でもある「あずき」を世界へ発信すべく「あずきをAZUKIに」を合言葉に、あずき製品の更なる販路拡大・強化に向け活動を続けてまいります。



▲ AZUKI・FACTORY

Box Works Customer Award

米国で法人向けクラウドストレージサービス「Box」を提供しているBox社が全世界のBoxユーザーの中で革新的な活用をしている企業を表彰する「Box Works Customer Award」にて井村屋グループが優秀事例として日本から唯一、全世界4社のファイナリストに選ばれました。現在、井村屋グループでは国内事業会社を中心にBoxの展開を行い、部署間はもちろん社外の取引先様とのデータ共有・管理など社内外問わず幅広い業務で活用し、業務効率の向上を図っています。



「昔ながらの缶プリン」日本パッケージデザイン大賞2019に入選

「昔ながらの缶プリン」が公益社団法人 日本パッケージデザイン協会が主催する「日本パッケージデザイン大賞2019」にて入選いたしました。

1968年の発売当初から変わらぬ製法と、卵の風味がしっかりと感じられるやさしい味わいを表現するために「古き良き井村屋レトロ」をデザインコンセプトとしました。

今回審査基準である①挑戦性②販売喚起力③商品特性の分かりやすさ④コンセプトualな視点に加え「美しさ」「新しさ」の要件を抑えた同商品をエントリーし、入選に至りました。今回の受賞を契機に、パッケージデザインを更に進化させ、商品の拡販を図っていきます。



▲ 入選した「昔ながらの缶プリン」

▲ 発売当初の缶プリン

7月1日「井村屋あずきバーの日」サンプリング開催

あずきには食物繊維やビタミンB1、B2など豊富な栄養素が含まれております。そんなあずきを使用したあずきバーを食べて暑い夏を乗り切っていただきたいという思いから2007年に一般社団法人 日本記念日協会より7月1日を「井村屋あずきバーの日」として認定いただきました。今年は全5会場（東京2会場、名古屋、大阪、北海道）で約20,000本のあずきバーを無料配布し、ご来場いただきましたお客様からは「いつも買っているよ」「おいしい」などたくさんのお声をいただきました。



▼あずきバーを美味しそうにほおぼる子供たち

来年度も開催予定となっておりますサンプリングイベントを皆さまにお喜びいただけるよう準備を進めてまいります！



Many Thanksキャンペーンが今年も始まりました！

総計1,360名様に当たる「肉まん・あんまん Many Thanks キャンペーン」が今年も始まりました。
全16品目の対象商品についている応募マークを集めてどしどしご応募ください！

井村屋
肉まん・あんまん
Many Thanks
キャンペーン

応募マークを集めて
総計**1,360**名様に当たる!

新で選んだり、当たってほっこり

第1回 必着締切 2018年**11月30日**(金)

第2回 必着締切 2019年**3月31日**(日)

賞品例:
A: 豪華あんまん 100名
B: 非対応商品 750名
C: 豪華肉まん 500名



4コ入肉まん



4コ入あんまん



4コ入ピザまん



2コ入ゴールド肉まん



2コ入ゴールドあんまん



2コ入ゴールドピザまん



2コ入ゴールド炙り焼き
チャーシューまん



2コ入ベイクド・デリ
国産鶏のチキングラタン



2コ入ベイクド・デリ
イタリア産トマトのピッツァ

今年、蒸して焼く、新食感バンズ「ベイクド・デリシリーズ」2品が新たに仲間入り!

さらにゴールドシリーズが個包装になり食べやすくりニューアルしました。

そのまま電子レンジで温めるだけの簡単調理で、もちもち生地とこだわりの具材が詰まったゴールドシリーズを手軽にお楽しみいただけます。



アズキキングの森づくり

三重県「企業の森」制度を活用して始めたアズキキングの森にて、休耕田の沼地を生かして生物が共生するビオトープを造成しました。

その完成披露として、アズキキングの森オープニングセレモニーを6月に開催し、記念植樹を行いました。地元自治会の皆さまと協力しながら森林保全活動を行い、人と自然と社会が共生する豊かな里山への復元を目指していきます。

井村屋「アズキキングの森」

場 所：三重県津市白山町佐田地区

面 積：5.5ha

森林保有者：佐田連合自治会様他

活動パートナー：中勢森林組合様

株式会社猪の倉様

新雲出川物語推進委員会様他

活 動 期 間：2018年1月～



▲ビオトープ



「北海道」の名付け親は三重県出身の冒険家。遠く離れた両者をつなぐ 「自由訳 十勝日誌」を寄贈

井村屋の創業地が松浦武四郎氏の生誕地である三重県松阪市であること、北海道はあずきの産地であり、十勝には契約農場があることなどにご縁を感じ、松浦武四郎著「十勝日誌」の現代語訳「自由訳 十勝日誌」(株式会社たけしろうカンパニー発行)の制作協力をしました。巻末特集には無類の豆好きであった武四郎氏の豆エピソードや契約栽培農家様との対談などを記載しました。また「自由訳 十勝日誌」は、北海道帯広市と三重県松阪市の小学校に寄贈しています。

井村屋グループとたけしろうカンパニーは北海道150年事業パートナーです。



①北海道十勝小豆圃場研修を実施

巻末特集の対談時に「あずき栽培は雑草との戦い」というお話を受け、2年目社員に契約農家様にて圃場研修を実施しました。

▼あずきの苗の間間などは手作業で除草します



②松阪市立小野江小学校にて出前授業を実施

三重県や松阪市、株式会社たけしろうカンパニーの協力を得て、松浦武四郎氏の出身地である松阪市立小野江小学校の6年生を対象に、十勝日誌の話とあずきに関する出前授業を行いました。

▼当社社員が講師を務めました



③三重県総合博物館(MieMu)にてコーポレーション・デーを開催

「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎」展開催中に博物館基本展示観覧料を無料にするコーポレーション・デーを開催しました。北海道のあずきをテーマにした展示や体験を通じて、井村屋グループの多様な取り組みをご紹介します。

▼初めて触れるサヤ付きあずきに興味津々のご来場者



持株会社 概要(平成30年9月30日現在)

井村屋グループ株式会社

本社所在地 三重県津市高茶屋七丁目1番1号
創業 明治29年(1896年)
設立 昭和22年(1947年)4月
資本金 2,576百万円
従業員数 44名 ※グループ全体では961名(平成30年9月30日現在)
事業内容 事業会社の経営管理、事業会社に対するコンサルティング、不動産の賃貸・管理

役員・執行役員

代表取締役会長(CEO)	浅田 剛夫
代表取締役副会長	中島 伸子
代表取締役社長(COO)	大西 安樹
専務取締役兼上席執行役員	前山 健
専務取締役兼上席執行役員	菅沼 重元
常務取締役兼上席執行役員(CTO)	中道 裕久
取締役兼上席執行役員	岩本 康
取締役兼上席執行役員	富永 治郎
取締役	名倉 真知子
取締役	西岡 慶子
上席執行役員	森井 英行
上席執行役員	近藤 久嗣
執行役員	岩上 真人
執行役員	行方 貞彦
常勤監査役	脇田 元夫
常勤監査役	寺家 正昭
監査役	若林 正清
監査役	橋本 陽子

(注) 取締役名倉真知子・西岡慶子の両氏は社外取締役であります。
監査役若林正清・橋本陽子の両氏は社外監査役であります。

事業会社 概要(平成30年9月30日現在)

より詳しい内容は、各社ウェブサイト、井村屋グループウェブサイトの「グループ企業紹介」(<https://www.imuraya-group.com/outline/group/>)を参照ください。

井村屋株式会社

所在地：三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容：菓子、食品、デイリーチルド、点心・デリ、冷菓、スイーツの製造販売
代表者：浅田 剛夫、前山 健
<https://www.imuraya.co.jp/>

井村屋フーズ株式会社

所在地：愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1
事業内容：菓子、食品、冷菓、調味料、食品添加物の製造販売
代表者：菅沼 重元
<https://www.imurayafoods.co.jp/>

イムラ株式会社

所在地：三重県津市高茶屋五丁目6番1号
事業内容：リース代理店業務、不動産管理業務等
代表者：池田 秀治
<https://www.imura-kk.co.jp/>

北京京日井村屋食品有限公司

所在地：中国北京市豊台区花郷羊坊308号
事業内容：調味料の販売
代表者：前山 健、近藤 久嗣
<http://www.imuraya.cn/jif/>

井村屋(北京)食品有限公司

所在地：中国北京市豊台区花郷羊坊308号
事業内容：菓子の製造販売
代表者：前山 健、中野 憲一
<http://www.imuraya.cn/ibf/>

IMURAYA USA, INC.

所在地：2502 Barranca Parkway Irvine, CA 92606, USA
事業内容：冷菓の製造販売
代表者：浅田 剛夫
<https://www.imuraya-usa.com/>

井村屋(大連)食品有限公司

所在地：中国遼寧省大連市旅順口区長城街道大房身村
事業内容：菓子、調味料の製造販売
代表者：前山 健、近藤 久嗣
<http://www.imuraya.cn/idf/>

井村屋(北京)企業管理有限公司

所在地：中国北京市朝陽区東三環北路甲19号楼9階1003室
事業内容：中国事業会社全体の資金管理及び事業戦略に関する支援業務
代表者：富永 治郎、鈴木 和久

井村屋グループ株式会社ウェブサイト

<https://www.imuraya-group.com/>

井村屋ウェブショップ

<http://www.imuraya-webshop.jp/>

井村屋株式会社 公式Twitter

https://twitter.com/IMURAYA_DM

井村屋株式会社 公式Facebook

<https://www.facebook.com/azukinoimuraya>

井村屋株式会社 公式Instagram

https://www.instagram.com/imuraya_dm/

井村屋株式会社 公式YouTube

<https://www.youtube.com/channel/UCoatWqjnbDnfrmkGEzehOCw>



この印刷物は、植物油
インキを使用しています。



見やすいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。